

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

(1) (2) 天皇の時代に伝来した仏教は、当初 (3) (4) 氏など受容に反対する人々も存在したが (5) (6) 氏や王族によって広められ、氏族の発展を願い先祖を追善する氏寺も建立された。秦氏の (7) (8) などはその典型例である。こうして7世紀前半には仏教を中心とした飛鳥文化が生まれた。この文化は朝鮮半島や中国大陆などの影響を受けており、例えば法隆寺金堂釈迦三尊像には (9) (10) の影響が見られる。7世紀後半の白鳳文化もやはり仏教文化を基調としており、仏教信仰がさらに普及し展開した。天皇や豪族がこぞって寺院を建立し、天武天皇は皇后の病氣平癒を祈念して (11) (12) を建立した。

(13) (14) 天皇が平城京へ遷都すると京の内外には大寺院が建立された。国家の庇護のもとで仏教はさらに発展し、仏教理論の研究が進んで様々な学系が形成され、多くの僧が活躍した。(ア) 仏教によって国を安定させようという思想によって、聖武天皇は大仏造立や国分寺建立の詔を出し、義淵の門下である (15) (16) や行基を信任した。その娘孝謙天皇（称徳天皇）も仏教への信仰があつく、(17) (18) の僧である道鏡を重用し、重祚後は印刷した (19) (20) を百万基の小塔に収めて近畿各地の寺に奉納するなど、仏教による政治を推し進めた。だが一方で(イ) 道鏡に皇位を譲ろうとし、政治上の混乱も引き起こした。文化面でも仏教は依然として大きな影響力を持ち、引き続き寺院の建築や仏像の制作が行われた。仏像の制作技法も発達し、興福寺の阿修羅像や東大寺法華堂の (21) (22) 像などの乾漆像も作られた。当時の工芸品や絵画は現在も正倉院に多数保存されている。これらには唐の影響が見られるだけでなく、漆胡瓶や白瑠璃碗などには (23) (24) の影響も見られ、アジア各地との文化交流がうかがえる。

長岡京、平安京へと都が遷ったが奈良の大寺院は新たな都に移転することではなく、旧来の仏教は政治への影響力を低下させた。一方で最澄・空海らが新たな仏教を興し、新時代の仏教は様々な改革を試みた。例えば最澄は天台宗独自の授戒制度を提唱し、南都諸宗など既存の仏教勢力から反対を受けて『 (25) (26) 』を著した。空海是最澄と同時に入唐して密教を学び、帰国後に真言宗を開いた。(27) (28) を中心仏として信仰し、(ウ) 真言を唱えて仏の加護を祈る儀式を行い、經典上の文字からはうかがえない秘奥を会得して悟りを目指す一派を密教と呼ぶ。天台宗も後に(エ) 円仁・円珍が入唐して密教色を強め、同様の傾向を持つようになった。両宗派が盛んになると芸術もその影響を受けた。密教の二つの世界である金剛界と(a) 界を図示した曼荼羅が描かれ、仏像も密教と関連深い不動明王などが多く作られた。

10世紀には空也などにより (29) (30) が広まり、源信は『 (31) (32) 』を著して念仏による極楽往生を説いた。(29) (30) は建築や美術にも影響を与え、阿弥陀堂を中心とした伽藍配置の寺院が建立された。藤原道長が建立した (33) (34) も同様の構造であった。仏像も日本独自の風格を備えるようになり、(35) (36) は天皇や藤原氏のために多くの仏像を制作した。絵画では、人々の臨終に際して阿弥陀仏が救いに訪れる様子を描いた(b) が盛んに描かれた。

このように、仏教は伝来以降日本の文化に多大な影響を与えてきたが、決して純粋な形で伝承されてきたわけではない。神祇信仰と融合して神仏習合が起こり、日本固有の神は仏の仮の姿であると見なす(c) が生まれた。さらには密教が多く山間部に寺院を構えたことから在来の山岳信仰とも結びつき、道教なども取り込んで (37) (38) が生まれた。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (37) (38) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 阿倍	12 恵慈	13 往生要集	14 大伴	15 陰陽道
16 欽明	17 百濟	18 華嚴宗	19 顕戒論	20 元正
21 玄昉	22 元明	23 康勝	24 興福寺	25 広目天
26 広隆寺	27 巨勢金岡	28 御霊信仰	29 山家学生式	30 三論宗
31 釈迦三尊	32 修験道	33 十住心論	34 定朝	35 浄土教
36 浄土宗	37 浄土真宗	38 神護寺	39 推古	40 蘇我
41 大官大寺	42 大日如来	43 陀羅尼經	44 陳	45 道慈
46 唐招提寺	47 日本往生極楽記	48 半跏思惟	49 般若心經	50 敏達
51 平等院	52 不空羼索觀音	53 ペルシア	54 法成寺	55 北魏
56 法華經	57 渤海	58 法界寺	59 法華寺	60 法相宗
61 弥勒菩薩	62 物部	63 文殊菩薩	64 文武	65 薬師寺
66 薬師如来	67 維摩經	68 用明	69 梁	70 良觀

問2 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) (a) ～ (c) に入る最も適切な語句を書きなさい。
- (2) 下線部 (ア) の思想を何と呼ぶか。漢字 4 文字で書きなさい。
- (3) 下線部 (イ) について、道鏡の皇位就任を告げる託宣を下した寺社はどこか。
- (4) 下線部 (ウ) の行為を何と呼ぶか。漢字 4 文字で書きなさい。
- (5) 下線部 (エ) の両者の仏教解釈の違いにより天台宗は後に二派に分かれることとなるが、円珍を祖とする一派を何と呼ぶか。

Ⅱ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

武家社会が成立する過程における、社会構造の変化と貨幣経済の進展をたどってみよう。武士とは、9世紀末から頻発した紛争を鎮圧するため、(39) (40) などに任じられた中・下級貴族が土着化して登場した人々である。その後私的な土地所有が進んで、武士が力をつけた。豪華な平泉文化を育て上げ、3代目秀衡が宇治の平等院鳳凰堂を模して(41) (42) を建立した奥州藤原氏などは、地域に独自の支配権を築いた一例である。(ア)僧慈円がその著『愚管抄』において、それ以降「武者の世」となつたと述べた保元の乱は、こうした社会構造の変化のあらわれでもある。

(イ)1180年に以仁王の令旨により始まった(43) (44) の乱で活躍した武士たちは、支配権の強化と拡大を望んでおり、それに応える如く成立したのが鎌倉幕府である。鎌倉幕府は御家人たちを守護などに任命することによってその権限を安定させ、侍所などの支配機構も整備し、(45) (46) を公文所の初代別当に任命した。当初は朝廷の支配権も強く残る二元的な支配体制が続いたが、承久の乱後、幕府は京都に、以前の京都守護にかえて(a)を置いて朝廷を監視し、また上皇方から没収した3000余カ所の所領に対し(47) (48) を任ずるなどして、西国への支配を強化した。(49) (50) と呼ばれる武家社会の慣習や道徳に基づいてつくられた、史上初の武家法である(イ)御成敗式目も制定され、武家社会の規範は社会に拡大しはじめた。他方、鎌倉時代には商業や流通のネットワークが少しずつ形成され、貨幣が社会に浸透しはじめていた。商品の取引量が増加するようになると、京都近郊では鮎などを売り歩く(b)等、女性の行商人も見られるようになった。高利貸業者である借上も現れ、その姿は(51) (52) にも描かれている。

(53) (54) 年の文永の役にはじまった蒙古襲来に対応すべく、幕府がその権力を強化させると、得宗の家臣と本来の御家人との対立も目立ちはじめ、有力御家人の安達泰盛が内管領に滅ぼされる(c)という事件も起きた。さらに分割相続による所領の細分化は、貨幣経済の進展ともあいまって御家人たちを窮乏へと追い込んだため、(55) (56) は永仁の徳政令を發布して対応しようとしたが、売却地返還における御家人と非御家人・(57) (58) との間の対応が違うなど、効果は限られた。これらの混乱にみまわれつつもこの時代は、二毛作の普及や、多収穫品種である(59) (60) の輸入によって農業生産性が向上し、農民の成長を後押しした。やがて農民や地侍を中心にして、自治組織である惣村が作られてゆく。惣村では(61) (62) と呼ばれる村の指導層が集まる寄合において、惣掟など重要な事柄が決定された。村民自ら警察権、裁判権を行使することを指す(63) (64) は、当時の村落自治を示すものである。惣村の発生は地縁的共同体成立の徴候と言えようが、血縁的結合から地縁的結合へという変化は地方武士団においても見られた。鎌倉幕府の体制の基礎をなす、宗家を首長とする一族の結合体制たる(65) (66) の解体こそが南北朝の動乱を長引かせた一因であるし、地方在住武士が地域的な一揆を作る動きも見られた。そこでは一揆契状の作成に際し、参加者の平等を示すため、(67) (68) という放射状に署名する方法が取り入れられることもあった。

流通の発展をうけ、室町幕府の財源も多岐にわたるようになった。港湾からは船舶の出入りにともない(69) (70) が徴収され、日明貿易で得た利益の10分の1を上納する(d)も重要な財源であった。明の初代皇帝の治世に鑄造された銅銭である(71) (72) をはじめとする明銭が大量に輸入され、貨幣流通はますます浸透したが、やがて国内産の貨幣も出回るにつれ、(エ)撰銭も行われるようになった。なお1976年には、韓国全羅南道の沖合で、東福寺造営料唐船とみられる(73) (74) が発見された。

問1 文中の空欄 (39) (40) ～ (73) (74) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 1249	12 1274	13 1281	14 永楽通宝	15 押領使
16 大江広元	17 大江匡房	18 乙名	19 開元通宝	20 春日権現験記
21 加徴米	22 傘連判	23 甘藷	24 義民	25 建長寺船
26 検田使	27 郷村制	28 洪武通宝	29 山王靈験記絵巻	30 直参
31 信貴山縁起絵巻	32 自警団	33 地下検断	34 地子	35 治承・寿永
36 承平・天慶	37 新安沈船	38 新補地頭	39 受領	40 惣領制
41 代官請	42 大唐米	43 段銭	44 知行合一	45 中尊寺金色堂
46 津料	47 道理	48 引付衆	49 尾州廻船	50 武断主義
51 文禄・慶長	52 北条貞時	53 北条実時	54 北条時頼	55 奉書紙
56 牧民金鑑	57 凡下	58 本補地頭	59 三善為康	60 三善康信
61 無量光院	62 無量寿院	63 毛越寺	64 寄親・寄子制	65 若年寄

問2 下線部 (ア) の『愚管抄』とその著者慈円について正しいものを以下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (75) にマークしなさい。

- 『愚管抄』は桓武天皇から承久の乱直前までを7期にわけて描いた著作である。
- 『愚管抄』は武家政権の登場を歴史の必然とし、朝廷と幕府との協調を訴えている。
- 慈円は関白九条兼実の甥である。
- 慈円は真言宗のトップにのぼりつめた学僧である。

問3 下線部 (イ) の1180年に起きた出来事ではないものを以下の選択肢から1つ選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (76) にマークしなさい。

- 石橋山の戦い
- 倶利伽羅峠の戦い
- 福原遷都
- 富士川の戦い

問4 文中の空欄 (a) ～ (d) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問5 下線部 (ウ) の御成敗式目と同様に、地域寺院において用いられた、玄恵作といわれる書簡形式の教科書の名を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問6 下線部 (エ) について、撰銭とは何か。解答用紙 B の所定の解答欄に20字以内で説明しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

日本が明治維新を迎えたころ欧米では資本主義が急速に発展しつつあった。列強と呼ばれる国々は軍事力や経済力を背景に世界に進出していったが、それを支えたのは交通の発達であった。太平洋横断航路の開設に続いて、(77) (78) 年には初のアメリカ大陸横断鉄道が完成し、同年 (79) (80) が開通すると、交通ルートはさらに短縮され、世界の結びつきは飛躍的に強まった。

富国強兵を目指した明治政府は殖産興業を推し進め、近代産業の発展に欠くことのできない交通運輸の整備にも力を注いだ。海運では岩崎の経営する三菱が政府の手厚い保護を受けて急成長を遂げた。1882年には三菱会社に対抗して (81) (82) が設立されたが、両者は1885年に合併して (83) (84) が成立した。国内航路を押さえた (83) (84) は遠洋にも進出し、1893年に (85) (86) 航路を開設した。1896年には海運保護政策の一環として (87) (88) も公布されている。一方、官営事業の払下げは、1880年公布の (a) が廃止された1884年から軌道に乗り、 (89) (90) は1887年に川崎に払下げられた。また、1880年に営業を開始した (91) (92) は、1887年、条例にもとづく (93) (94) に改められ、貿易金融の中心的役割を担うようになった。鉄道は1872年に新橋・横浜間が開通し、ついで神戸・大阪・京都間も開通して大都市と開港場が結びつけられた。1881年には華族を中心にして日本鉄道会社が設立された。日本鉄道会社では1898年に日本鉄道 (b) という労働組合も組織されている。1906年、(95) (96) 内閣は、軍事的な配慮もあって全国鉄道網の統一的管理を目指す鉄道国有法を公布した。同年には、関東都督府が置かれ、南満州鉄道株式会社(満鉄)が設立された。満鉄は鉄道に加えて沿線の炭鉱などの経営にも当たった。重工業の基礎となる鉄鋼の国産化を目標に (97) (98) の技術を採用入れて建設された官営八幡製鉄所では中国 (99) (100) の大冶鉄山の鉄鉱石が使用された。日露戦争後には満州の (101) (102) 炭鉱の開発も進められた。産業革命の進展にともなって賃金労働者が急増したが、産業革命期の労働者の実状を伝えるものに1903年刊行の農商務省編『(103) (104)』などがある。

鉄道や汽船が国際的な交通手段として発達すると人々の移動はあっという間に活発になっていった。留学生の派遣は幕末にも行われており、洋書調所の教官であった (105) (106) は (107) (108) に留学し、後に『万国公法』を刊行した。1871年には岩倉使節団が欧米諸国に派遣され、近代国家の法律や政治・経済の仕組みを視察して1873年に帰国した。このとき使節団に随行した久米邦武によって視察内容を克明に記した報告書『(c)』が作成されている。明治政府は多くの使節・留学生を送り出し、また、多くの外国人を雇い入れたが、明治時代には移民として海を渡る人も多かった。1911年、(109) (110) 内閣の小村寿太郎外相は、(ア) アメリカと新通商航海条約を締結し、税権の完全回復に成功した。アメリカに続いて他の国々とも新通商航海条約が締結され、開国以来半世紀を経て漸く日本は条約上列国と対等の地位を得ることになった。しかし、日露戦争後、日本の台頭を警戒する (111) (112) がアメリカにも波及し、アメリカ国内ではカリフォルニア州を中心に日本人移民排斥運動が高まった。日本は(イ) 1919年のパリ講和会議において (d) 撤廃案を提出したが採択はされなかった。

問1 文中の空欄 (77) (78) ～ (111) (112) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 1859	12 1864	13 1869	14 1874	15 アメリカ
16 イギリス	17 石川島造船所	18 インド	19 内田汽船会社	20 オーストラリア
21 オランダ	22 加藤弘之	23 甘肅省	24 共同運輸会社	25 計画造船
26 経済要録	27 航海奨励法	28 黄禍論	29 杭州	30 国立銀行
31 国権論	32 湖北省	33 山東省	34 シベリア鉄道	35 重要産業統制法
36 商船規則	37 女工哀史	38 職工事情	39 スエズ運河	40 第1次桂
41 第1次西園寺	42 第1次山本	43 第2次桂	44 第2次西園寺	45 第3次桂
46 第4次伊藤	47 脱亜論	48 ドイツ	49 東京銀行	50 東清鉄道
51 東洋汽船会社	52 特殊銀行	53 長崎造船所	54 中村正直	55 西周
56 西村茂樹	57 日本勧業銀行	58 日本興業銀行	59 日本製鋼所	60 日本之下層社会
61 日本郵船会社	62 日本輸出入銀行	63 パナマ運河	64 兵庫造船所	65 撫順
66 福建省	67 ブラジル	68 フランス	69 ベルギー	70 保護主義
71 三井合名会社	72 三井物産会社	73 民族自決主義	74 横須賀造船所	75 横浜正金銀行
76 蘭州	77 陸豊	78 旅順	79 労働世界	80 ロシア

問2 鉄道事業に関連する説明として正しいものを下の選択肢から2つ選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 ・ にマークしなさい。

- 官営の東海道線は1889年に全通し、日本鉄道会社は1891年に上野・青森間を全通させた。日本鉄道会社の設立の後も鉄道会社の設立は続き、1901年には山陽鉄道会社が神戸・下関間を全通させた。
- 明治初期の鉄道開通に続いて東京では1880年代に鉄道馬車が登場した。日清戦争前頃には水力発電が本格的に行われるようになって電力事業が勃興し、1895年には路面電車が初めて東京の市街に開通した。
- 1905年に鉄道企業家ハリマンが満鉄共同経営を提案したが日本はこれを拒否した。1909年にはアメリカは満州鉄道中立化を列国に提案したが、日本は1910年に第3次日露協約を結んで満州の権益を維持した。
- 1918年に発足した原敬内閣は、選挙権の納税資格を3円以上に引き下げ、小選挙区制を導入し、積極政策を公約して総選挙に圧勝したが、鉄道敷設による憲政会の基盤拡大を図って「我田引鉄」といわれた。
- 1982年に発足した中曽根康弘内閣は、新自由（新保守）主義の世界的風潮のなかで「戦後政治の総決算」ととなえて行財政改革を推進し、社会保障を後退させ、電電公社・専売公社・国鉄の民営化を断行した。

問3 文中の空欄（ a ）～（ d ）に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に書きなさい。

問4 以下の設問の解答を解答用紙Bの所定の解答欄に書きなさい。

- 下線部（ア）に関連して、1858年に調印された日米修好通商条約の第4条に「別冊の通、日本役所へ運上を納むべし」とあるが、この「別冊」は一般に何と呼ばれるか、漢字4文字で書きなさい。
- 下線部（イ）に関連して、このときの全権の1人で1907年の文部省美術展覧会（文展）創始時の文部大臣であった人物の氏名を漢字で書きなさい。
- 次の（あ）～（か）の明治時代の出来事を年代順に正しく並び替え、その記号を年代順に左から書きなさい。
（あ）金禄公債証書交付開始 （い）貨幣法制定 （う）日本銀行銀兌換銀行券の発行開始
（え）農商務省創設 （お）新貨条例制定 （か）日英通商航海条約調印（陸奥宗光外相時）